

第137回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年6月24日（金）16:00～16:12
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

（1）新型コロナウイルス感染者の状況等について

（保健福祉部長）

4ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

6月23日現在の療養者の状況です。

入院者が57人、うち重症者が0人となっています。

6月15日以降、入院者数が100人を下回っております。

療養者数は、合計で1,096人となっています。

その下ですが、病床等の状況についてです。

現在の感染状況及び一般医療との両立の観点から見直しを行うこととし、即応病床数、743床については642床に、併せて、緊急時最大の確保病床数、827床を815床に、重症者用病床数、47床を45床といたします。

いずれも、約2週間の移行期間の後、7月8日からの変更となります。

また、記載はございませんが、福島市と郡山市に設置しております入院待機ステーションについても併せて7月1日から運用を休止することといたします。

次に、6ページ、新規陽性者の状況です。

人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は44.62人で、6月5日以降、50人を下回っておりますが、この1週間では、わずかながら上昇する日も見られました。

次に、8ページ、病床使用率の状況です。

病床使用率は7.7%で、6月17日以降、10%を下回っております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数。こちらは59.79人で、6月2日以降、100人を下回っておりますが、下げ止まりからわずかながら上昇の傾向にあります。

次に、13ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

会津若松市、須賀川市、いわき市においては50人を超えておりますが、それ以外の各市においては、50人を下回っており、南相馬市においてはレベル2の水準になっていません。

次に、14ページ、保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの直近1週間の新規陽性者数です。

相馬市、喜多方市においては100人を超えておりますが、それ以外の各市においては50人を下回っており、本宮市においてはレベル2、伊達市、二本松市においてはレベル1の水準となっております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(5.2%)、「人口10万人当たりの療養者数」(59.79人)、「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(44.62人)が、レベル3、「PCR陽性率」(7.2%)、「感染経路不明者の割合」(57.7%)が、レベル2、「病床の使用率」(7.7%)、「重症者用の病床使用率」(0.0%)が、レベル1となっております。

次に、17ページ、資料3をお願いいたします。

【資料3】

無料検査の期間の延長についてです。

1月3日から開始しております感染不安を感じる県民を対象とした無料検査について、「3」の期間のとおり、7月31日まで延長いたします。

検査実施場所は県内209箇所に整備しておりまして、県ホームページに掲載しております。

なお、「6 その他」の記載のとおり、「県民割」等の旅行、イベント参加等の際に必要な検査を無料化いたします「定着促進事業」、こちらについては、国において、8月末までの延長が決定したところです。

説明は、以上です。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

18ページ、資料4をご覧ください。

【資料4】

1 接種実績につきましては、6月22日時点で、3回目接種の回数が、1,258,302回、全人口に対する接種率は67.6%になっております。

また、4回目の接種回数は3,224回となっております。

資料中段の囲みの部分、6月末累計の対象者、約152万6千人に対する3回目の接種率は82.5%となっております。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が36.4%、2回目が32.1%となっております。

資料下段「参考」につきましては、首相官邸ホームページの「3回目接種の年齢階級別接種率の実績」の抜粋になります。80歳代を除いて、本県は全国を上回っております。

次のページをご覧ください。

7月に実施するワクチン接種についてご説明いたします。

まず、ノババックス社ワクチン接種の7月実施分についてです。

ノババックス社ワクチンの接種を希望する多くの方に接種いただけるよう、会場を福島市に加え新たに3地域を増やし、本日から予約を開始しております。

次のページをお願いします。

7月の大規模接種についてです。7月は12歳から17歳までの方を対象とした3回目接種を実施いたします。

より多くの方に接種いただけるよう、実施日を夏休み前の土曜日に設定し、福島市、会津若松市、郡山市及びいわき市に会場を設け、明日25日から予約を開始いたします。

説明は以上です。

(3) その他

(金光教授)

御報告にあったとおり、現在、新規感染者数は県内で落ちついている。あるいは、重症の方が県内においてはいらっしゃらないということで、少し安堵しています。

ただし、県内で患者が減少し続けている状況ではございませんので、基本的感染対策については、もちろん維持しなければならないということでもあります。

私が少し気にしているのは、5月末だったでしょうか、国からマスクを着けなければい

けない状況、あるいは外してもいい状況が示されました。

これは福島県においても、ご案内があったとおりですが、それからしばらく経っていますが、県内では、屋外にあっても、ほぼ全員がマスクを着けている状況を見えています。

あるアンケートを見たら、部屋に1人で居てもマスクを着けているとか、1人で車を運転している時もマスクを着けている人はかなり多いです。

これはもはや感染対策でも何でもありません。理由はもちろん「人目が気になる」ということですので、そういうこと（人目）ではなく、メリハリのある感染対策をお願いしたいと思います。

(知事)

はじめに、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係の皆さんに、深く敬意と感謝の意を表します。

また、感染拡大防止のため、様々な御協力を頂いている、県民の皆さん、事業者の皆さんに心から感謝を申し上げます。

全国の1日当たりの新規陽性者数は、概ね1万人台で推移しておりますが、ここに来て前の週の同じ曜日を上回る日も見られるなど、下げ止まりの状態から、再び増加に転じる懸念も出てきています。

本県においても、1週間の新規陽性者数は、5月中旬以降、減少が続いていました。しかし、直近ではわずかに増加してきていることに加え、感染者数に占める10代以下の割合が依然として高い状況にあります。

感染の再拡大を防ぐため、引き続き、正しいマスクの着用やこまめな換気、人と人との距離の確保など、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

また、お子さんの体調変化にもよく気をつけてあげてください。

これからの季節は気温が上がり、湿度が高くなることから、マスクの着用は熱中症のリスクが高まります。

屋外で、人と人との距離が十分に確保できる場合や、距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合は、マスクを外すようにしましょう。

また、熱中症の予防には、のどが渇いていなくてもこまめな水分補給をすることや、涼しい服装で日陰で涼むなど、暑さを避けることも大切です。

屋内で過ごす場合には、エアコン使用中でも適切に換気をしてください。

一般的な家庭用エアコンは、換気をしないものがほとんどです。窓やドアなどを2か所

開ける、扇風機や換気扇を併用するなど、換気をしながら涼むようにしてください。

特に、熱中症になりやすい御高齢の方、お子さん、障がいをお持ちの方は、より注意が必要です。周囲の方からも積極的なお声掛けをお願いします。

また、暑さに備えた体力づくりと、日頃からの体調管理にも努めてください。

現在、感染状況はある程度の落ち着きを見せていますが、わずかながら増加の傾向も見られます。

県民の皆さん、事業者の皆さんにおいては、感染の再拡大を防ぐため、熱中症などにも気をつけながら、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

県としても、感染症対策と社会活動・経済活動との両立を図るため、全力で取り組んでまいります。皆さんの御理解と御協力をよろしく願いいたします。

(983字)